



新潟・長岡営業統括センター設置の提案受ける

「新潟支社の現業機関における柔軟な働き方の実現について」提案団体交渉

新潟地本は4月4日に団体交渉を行い、支社側より「新潟支社の現業機関における柔軟な働き方の実現について」の提案を受けました。これまでの役割分担にとられない柔軟な働き方を実現するために、長岡営業統括センター、新潟営業統括センターを新設するとしました。

支社側からの提案内容

●実施内容

「長岡営業統括センター」及び「新潟営業統括センター」を現業機関として新設する。

●実施個所

各営業統括センターは、以下の現業機関を統合して新設する。

(1) 長岡営業統括センター

長岡駅 (地区センターを含む)・越後湯沢駅 (ガ

ーラ湯沢駅を含む)・浦佐駅・柏崎駅・上越妙高駅・十日町駅・燕三条駅 (吉田駅を含む)

(2) 新潟営業統括センター

新潟駅 (地区センターを含む)・小国駅・新発田駅・村上駅・新津駅・上沼垂信号場

●実施日

長岡営業統括センター 2022年10月

新潟営業統括センター 2023年 3月

交渉のポイント:当初は現箇所プラス1駅が中心・運輸区も企画業務を担う

- 発足日や具体的な体制は未定。今回の提案はエリア、時期、職場を示し、立ち上げの機運を盛り上げるもので、完成形は固まっていない。走りながらマイナーチェンジをし、ブラッシュアップを行うことになる。
- 1人の社員が複数の業務を担うことで、新たな価値観の創造やキャリアアップを行うことが実施の目的。効率的な運用や収入・収益のアップが目的ではない。
- 長岡営業統括センターは、冬期前に体制を整えるために今年10月に発足させる。
- 新潟営業統括センターは、6月の新潟駅全面高架化への対応、設備系の8技術センター、2運輸区との調整などがあるため来年3月の発足とする。
- 発足時に1人が全駅対応は現実的ではない。現時点の駅を基点にプラス1駅、2駅の融合となる。
- 吉田と上越妙高駅のような遠距離間の融合は現実的ではない。長岡と吉田、柏崎と上越妙高の様な形でカバーをし、単独の駅は作らない様にする。
- 統合に含まないが、営業統括センターにおける企画業務を運輸区が共に担うことになる。
- 出勤箇所、ロッカーの配置、「室」の設置や規模など詳細は現在検討中。



東日本ユニオンで未来の営業職場を創出そう